

# 藍住町 議会だより

## 第42号

平成17年8月25日

発行 藍住町議会

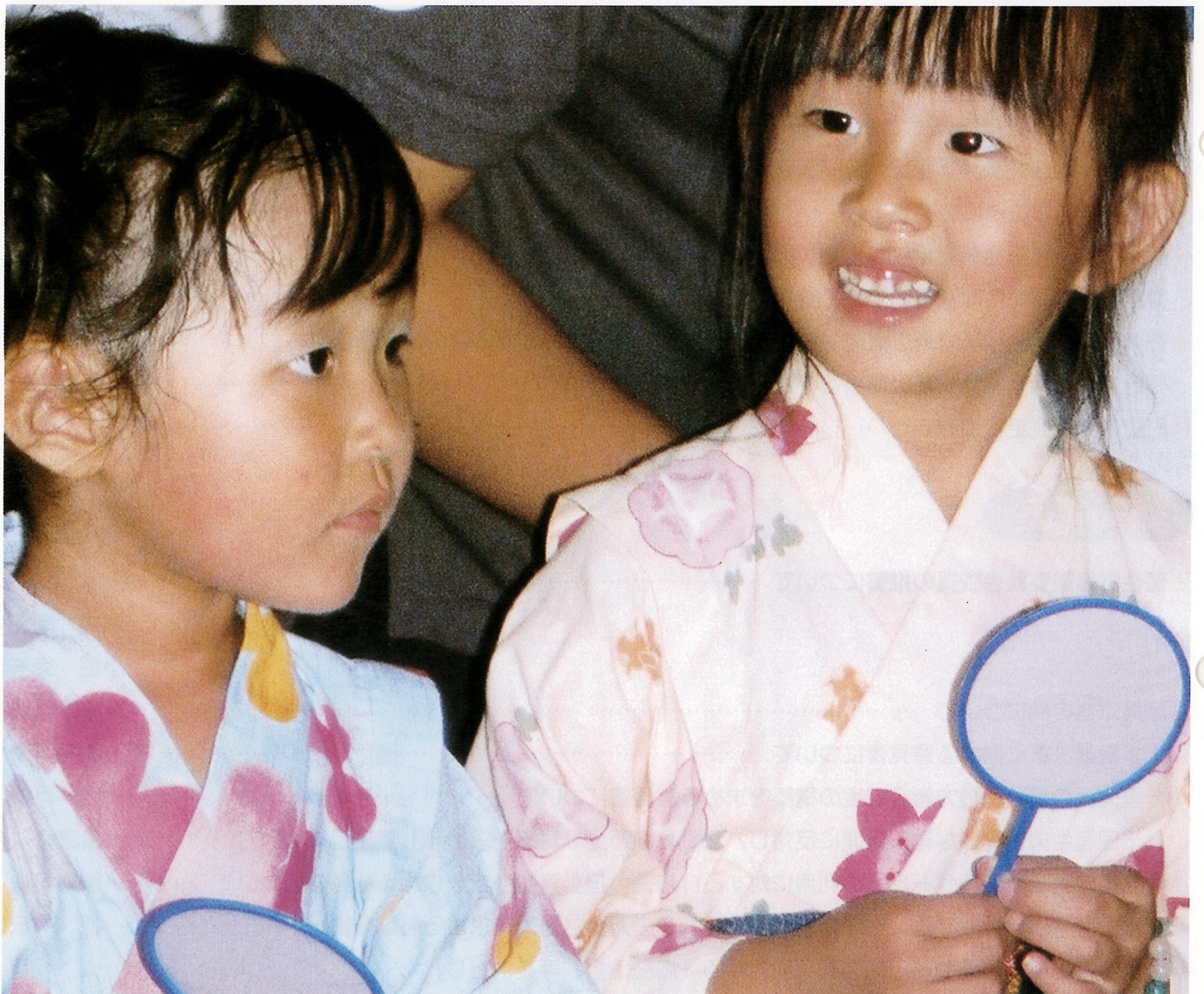
編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



あいずみ商工会納涼祭

### CONTENTS

|        |     |
|--------|-----|
| 定例会    | P2  |
| 一般質問   | P4  |
| 議会のうごき | P12 |



# 6月 定例会

6月定例会は6月13日から23日までの11日間の会期で開会された。  
平成16年度一般会計補正予算など7議案と、議員提案の6議案を原案のとおり可決した。  
また、議員提案の請願書2件については採択された。

## 町長提案

- 藍住町課等設置条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて ……………原案可決
- 藍住町税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて ……………原案可決
- 平成16年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて ……………原案可決
- 平成16年度藍住町特別会計（住宅新築資金等貸付事業）補正予算の専決処分を報告し  
承認を求めることについて ……………原案可決
- 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び  
徳島県市町村総合事務組合同規約の変更について ……………原案可決
- 徳島県町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び  
徳島県町村議会議員公務災害補償等組合同規約の変更について ……………原案可決
- 町道の路線変更について ……………原案可決

## 議員提案

- 藍住町農業委員会委員の推薦について ……………東條 照幸  
木内 敏文  
小堀 克夫
- 議員派遣の件について ……………原案可決
- 人権擁護法案に関する意見書について ……………原案可決
- 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書について ……………原案可決
- 「米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」意見書について ……………原案可決
- 障害者の福祉・医療サービスの利用に対する「応益負担」等を中止を求める意見書について ……………原案可決
- 「米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」請願書 ……………採 択
- 障害者の福祉・医療サービスの利用に対する「応益負担」等を中止し、  
障害者自立支援法案の慎重審議を求める請願書 ……………採 択

### 議員の旧姓 使用について

藍住町議会議員が婚姻、養子縁組等により戸籍上の氏名を改めた後も、一定の範囲内で旧姓使用を認めるとする、「藍住町議会議員旧姓使用取扱要綱」が4月1日より施行。  
旧姓使用の取扱いを明文化し、履歴・身分証明・費用弁償等、議員の身分に関するものや、旧姓使用によって混乱が生じる恐れがあると議長が判断したものを除き認められることとなる。

この度、「林 恵子」議員から氏の変更に伴い、改姓前の「西岡 恵子」の旧姓使用について申し出があり、6月定例会から旧姓を使用し、本会議の一般質問や各種委員会のほか、意見書や議会内の議席札等、旧姓を使用することとなった。



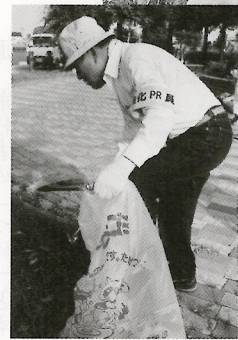
## 町からの主な報告

### ◆徳島夏のエコスタイル

本町も今年度から普及啓発に取り組みこととなった。実施期間は6月1日から9月末までとし、冷房時の温度設定を28度にするとともに、男子職員についてはノーネクタイでの勤務を実施。また、町議会においても、議会の本会議以外について、エコスタイルで行うことを決定している。町民の皆様のご理解、ご協力をいただきたい。



環境美化ピアー



### ◆ポイ捨て・犬のふん害

「ポイ捨て等及び犬のふん害の防止に関する条例」が施行され、PR活動を行ってきたが、今なおルールを守っていただけない方がいる。

このため、環境ボランティアを募集し「正法寺川公園」と「桜づつみ公園」の2ヶ所について、7月から1ヶ月間、マナー向上を呼びかけ、住民一体となった美しい町づくりに励みたい。

### ◆ノーカーデー

5月1日から毎週火曜日をノーカーデーと位置付け、通勤距離が2km以内の職員は、自転車または徒歩で通勤するよう協力を求めている。将来は、町内企業にもお願いしたいとも考えている。

## 平成17年度春の叙勲受章

### ◆前藍住町議会議員 犬伏 芳夫氏が晴れの受章



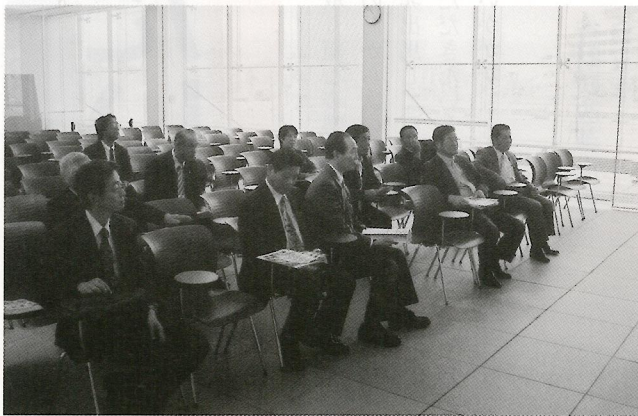
去る5月6日、徳島県庁において叙勲の伝達を受け、その後5月20日、皇居「豊明殿」にて天皇陛下への拝謁が行われた。

氏は、昭和39年から10期40年の永きにわたり、藍住町議会議員として地方自治の発展に尽力。今回この功績により旭日双光章を受章された。

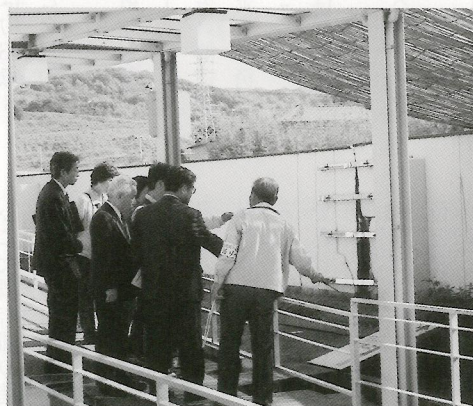
## 防災対策特別委員会視察研修報告

5月10日、兵庫県神戸市「人と防災未来センター」及び兵庫県淡路市「北淡震災記念公園・野島断層保存館」において視察研修を実施した。

人と未来防災センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、国内外の震災による被害の軽減に貢献すると共に、実践的な調査研究や人材育成、新潟県中越地震等の被災地への専門家派遣等を実施している施設である。映像や資料、体験者の説明等により研修。震災時の状況、避難先や救援物資、食料と水の問題、コミュニティの重要性等聞き、大いに参考となった。



人と防災未来センターで地域共助について研修を受ける委員



旧北淡町被災家屋の説明を受ける委員

北淡震災記念公園・野島断層保存館は、阪神・淡路大震災の震源近くにあり、地表に現れた段差を国指定天然記念物とし、また、民家を当時の被害状況そのままに保存している。震災を経験した中での問題点として、机上の計画は無防備に等しく、実地訓練の徹底を痛感。住民等との連絡体制が不十分で、口コミで伝えるのが精一杯であったとのこと。その中で消防団員・地域住民が一体となり活躍。個々の生活を熟知していたため人的被害を最小限にとどめている。日ごろからの避難場所の周知徹底と定期的な避難訓練実施の必要性、また、地域コミュニティ醸成の重要性を学んだ。



# 町政メニューが聞ききたい

## 議員8人が一般質問



小川幸英 議員

路になっている。

また、町長は7つの地区において住民説明会を開催し、町の財政状況と行財政改革について説明し、住民から意見を聞き積極的に取り入れ、町民と共に行財政改革に取り組まれてきた。

取り組む姿勢に対し、町民の間から次の町長選にも是非出馬して町政を担っていただきたいとの声も多いがいかがか。

### 行財政改革による自立を...

就任直後からごみ問題では、ご心配をおかけした。

就任後、初めて喜びを感じたのは東中学校南側などの道路が、地権者の方々の理解のもと拡幅工事が完了したことである。

次に財政問題。財政の再建無くしては真の地方自治と特色ある町づくりはあり得ないとの信念のもと、町民委員会を立ち上げると共に、住民説明会を開催。また、公共施設の指定管理者制度による外部

### 石川町政 一期4年の総括

石川町長は、今年12月2日で任期満了となるが、4年前「地方分権の実現した町づくり」「財政再建と公共事業の見直し」「生活環境の整備充実」「心の教育を重視」「福祉の充実」「能率的な行政運営」「産業を育成し活力ある町づくり」を公約に掲げられ、民間企業経営手法を行政に活かした。また、奥野富吉線、光洋精工東側の道路も十数年間、一ヶ所細いまままで交通渋滞になっていたが、二車線道路に拡張され、現在では北と南を結ぶ主要な道

勝瑞中富線、東中学校グランド南側道路は十数年

間、細い道のままで、子供の通学時の事故が心配され、PTAや町民の間からずっと要望されていたが、なかなか進まなかった。が、町長の強い意志と粘り強い行動力で二車線道路が開通した。

また、奥野富吉線、光洋精工東側の道路も十数年間、一ヶ所細いまままで交通渋滞になっていたが、二車線道路に拡張され、現在では北と南を結ぶ主要な道

路になっている。

また、町長は7つの地区において住民説明会を開催し、町の財政状況と行財政改革について説明し、住民から意見を聞き積極的に取り入れ、町民と共に行財政改革に取り組まれてきた。

また、町長は7つの地区において住民説明会を開催し、町の財政状況と行財政改革について説明し、住民から意見を聞き積極的に取り入れ、町民と共に行財政改革に取り組まれてきた。

また、町長は7つの地区において住民説明会を開催し、町の財政状況と行財政改革について説明し、住民から意見を聞き積極的に取り入れ、町民と共に行財政改革に取り組まれてきた。

また、町長は7つの地区において住民説明会を開催し、町の財政状況と行財政改革について説明し、住民から意見を聞き積極的に取り入れ、町民と共に行財政改革に取り組まれてきた。

また、町長は7つの地区において住民説明会を開催し、町の財政状況と行財政改革について説明し、住民から意見を聞き積極的に取り入れ、町民と共に行財政改革に取り組まれてきた。

また、町長は7つの地区において住民説明会を開催し、町の財政状況と行財政改革について説明し、住民から意見を聞き積極的に取り入れ、町民と共に行財政改革に取り組まれてきた。





永浜茂樹 議員

### 学校給食・地産地消

日本農業新聞2005年5月27日付によると、農水省は新たな「食料、農業基本計画」に添って、地産地消を進める行動計画を立て、学校栄養職員向けの講演会などを通じて、地場産農産物利用の拡大を目指すとする。県内では平成17年5月18日徳島新聞で、三好郡三加茂町の学校給食「地産地消広がる」と、大きい見出しで紹介。

私も、6月10日、三加茂町の教育長、給食センター所長、栄養士の方等に面会し、対話の中で教育長は、人に良いと書いて「食」。食は本来、人に良いもの、人を良くするものである。成長期の子供達に安心して食べてもらえる食材の確保は学校給食現場の対応すべ

### 実現に向け努力

学校給食は、児童生徒に安全で安定した食料供給が不可欠であり、十分な調査研究が必要。自立経営農業振興会等、関係機関の協力をいただき、実現に向けて十

分研究していきたい。地元の農作物を利用することは多くのメリットを持っていると考えられる。今後の食育教育推進の検討課題としていきたい。

### 学校プールの管理

東中学校と町内4小学校のプールの浄化と、この度、地震災害、防災対策に備えての機能安心設備改善等の対応をお願いしたい。

### 整備改善は計画的に進める必要がある

防災対策を加えた整備改善は、多額の費用となり直接安全に繋がるものしか実施できていない。

衛生面については、授業前に簡易な水質検査を、また、7・8月には専門の検査機関に依頼。消毒の投入は規定に基づき実施。なお、緊急時の対応として携帯電話を貸し出している。

### 町内遊具施設の管理整備

大規模公園の、桜づつみ公園、正法寺川公園の互恵広場、共に治安が悪く遊具、トイレが壊されているのに、修復に月日が経過しすぎであると住民の方から指摘が。早急に修理を。

防犯、夜間非行防止策として、藍住町の行政対策監・各地区別にある防犯推進委員・板野西部青少年補導センター補導員・町内駐在所の方々にお願いし、日を変えての巡回、遊具施設は勿論、町内の治安対策に対応願いたい。

また、公園内では誘拐とか予期せぬ事態・事故が発生。対策として直ぐに連絡

通報が出来るよう、「防犯ベル」・「警報装置」を公園内に設置を。

### 安全性を第一に考え管理

壊された遊具が外国製であること、建物は保険手続き等により時間がかかっている。利用者の立場に立って考え善処したい。

公園等の見回りは、行政対策監を中心に随時実施。例年夏場は夜間も行っており、本年度から防犯推進委員さんにも協力をいただき毎週1回、8月末まで実施する予定。警報ブザーは管理の



防犯夏季巡回活動（桜づつみ公園）

問題等もあり今後の課題としていきたい。

### 防災対策・水防講習会

2004年、西日本列島を次々に襲った台風や大震災、自然災害の恐ろしさを見極めての結果、天災は予測不可能なゆえに「大切なのは日々の備え」である。昨年の台風水害を教訓に藍住町にも早く「水防工法講習会開催」を。

また、防災訓練は庁舎内からとし、まず町職員が災害の対応の仕方を認識されたいから住民に指導しては。

### 早い機会に水防講習会を実施

水防に関する講習会の実施に向け消防団幹部と協議していたが、まだ実施できていない。7月中にはできるだけよう準備を進めたい。

役場庁舎の防災訓練や自治会への自主防災組織の立ち上げと訓練の呼びかけ、住民を対象とした防災講習会にも取り組みたい。





小堀克夫 議員

### 税の滞納

納税は町民の義務であり、町予算の根元をなすものである。ここ数年の経済社会は毎年のごとく低迷し、大都会・大企業では明るさも報道されているが、地方経済は縮小に歯止めがない状態である。このような中での納税については、それぞれ事情は多々あると思われるが、大半のまじめな町民に対し、不公平感を抱かせないよう、徴収の実績を上げなければならぬ。地味で後ろ向きの業務であるが、担当関係者だけでなく職員全員が同じ意識にならねば、いつまでも完納に近づけないと思われる。

平成15年、16年の項目別滞納額と、少額から高額まで50万円単位ごとの件数

|            |             |             |             |             |             |             |            |              |            |             |              |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|-------------|--------------|
| 平成16年度一般会計 | 分滞納額は、現年度分  | 8, 158万円。件数 | は1, 326件。滞納 | 繰越分は3億2, 51 | 0万円。件数は1, 9 | 15件。合計2, 41 | 7件。滞納額100万 | 円以上が74件。50万円 | 以上100万円未満が | 101件。50万円未満 | が2, 242件となる。 |
| 税目別では、固定資  | 産税が2億4, 086 |             |             |             |             |             |            |              |            |             |              |

### 組織一体となり 徴収確保を図りたい

は。また、新しく滞納者となった、件数は。特に新しい滞納者について長期化、高額化しないためにも現年のうちに芽を摘む努力が必要であると思われる。今後の徴収の方針について具体的な回答を。

は。また、新しく滞納者となった、件数は。

万7千円で約60%。個人町民税が1億4, 390万円で約35%。徴収率は現年97.74%で昨年度より0.3ポイント、滞納繰越分は12.6%で1.1ポイントアップ。

今後の徴収対策として、現年度の収入を上げる。滞納繰越額を圧縮することの2つが不可欠。

当該年度課税分は、年度内に整理し、早期完納に導き、新たな滞納を未然に防止。滞納繰越分は高額滞納者を中心に整理、財産調査により差し押さえ等も行い収納率向上を図りたい。

### 老朽化した 安任・原団地

両団地については広い面積を使用し、建物も老朽化し、地震等の災害時には倒壊の心配もある。無断でさしかけ等の改造をされているところが見受けられる。賃貸借契約では届け出なしでの改造は許されないはず



町営原団地

で今まで放置してあることが問題である。撤去への指導はなされているのか。現在は入居募集していないと聞いており、歯抜け状態になっている。一部引越越し費用等を負担してでも、転居の交渉を行い、段階的に解体し、更地にすべきである。防災上の観点から、公共避難場所として使用でき、また、部分的にも売却することも可能である。数年の計画のもと、スケジュールに添って、転居および

整理していくべきである。この点の方針は。

また、町営住宅家賃の長期滞納者について、先日の議会の冒頭で専決処分報告がなされたが、先週土曜日の徳島新聞に、徳島市が6年と、10年の長期家賃滞納者に明け渡し判決の記事が報道されていた。このように最終手段になるまでに日々の徴収努力が求められると考えるがいかがか。

### 政策空屋対策 入居者に移転を呼びかけ

現在、安任・原・中村・笠木・馬木団地を政策空屋とし、入居募集を行っておらず、管理戸数が187、空部屋数は59となっている。

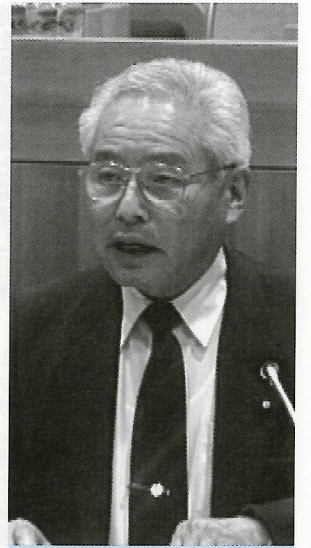
今後、この5つの団地が空き次第、用途廃止を行うことが得策であるとも考えられる。

現在のところ、家賃等も考え、移転対象団地を敷地団地とし、敷地団地が空き次第、まず政策空屋の入居者に移転の呼び掛けを行い、了解が得られ次第、移転していただくことを計画している。

### 住宅使用料 課員全員で徴収に向け努力

16年度は前年度より1, 100万円の増収。悪質で高額な滞納者に対し裁判を前提とした納付指導によるものと考え、今後もこの指導を継続し高額・悪質な滞納者一掃に取り組むたい。





西谷 修 議員

### 公園遊具の安全対策

町は、長年にわたり特色ある公園づくりに取り組み、四季折々の花が咲き、

町民の目を楽しませていることに敬意を表するものである。しかし、公園にはそうした緑を提供するという側面と同時に、子供達の成長に欠かせない遊びの場としての役割がある。

最近の公園を見ていて特に気になるのは、遊具のベンキがはげて、何となく落ちぶれて見えると言うことである。近づいて見ると、滑り台のひび割れ破損、また、穴が空いていたということもある。ベンキが傷んでとげが刺さるとい声も聞く。

滑り台で子供と一緒に滑っていて手をけがしたお母さんも知っている。

それでも、まとまった遊具がある公園では、子育てグループの親子が曜日を決めて集まり情報交換したり、子供同士が友達になっ

て走り回ったりしている。新しい遊具をどんどん増やしてくれとは言わないが、せめて今ある遊具の落書き、ベンキのはがれはきれいに塗り、補修の行き届いた状態にして欲しい。

町長は子供の笑顔が輝く町づくりを標榜しておられるが、子供にとつて安全で安心して楽しく遊ぶことのできる公園づくりはおろそかにしてはならない問題であると思うが、いかがか。

### 出来るだけ早く修繕に努める

公園のトイレや街路灯は修繕を重ね、落書き等は跡を絶たず、公

園内の机が燃やされたり、夏には花火や残飯等が捨てられ毎日のように掃除や片づけが必要となる。このため、破損箇所を早いうちに見つけ、軽微な故障箇所を修繕し維持していくのが精一杯の状況。今後、撤去を含め補修の基準を検討していきたい。

また、いたずらや非行防止、防犯の観点からも関係者と協力し見回り等の回数を増やしていきたい。

### 滞納対策

本町においては、厳しい財政状況に対応するため、藍住町行政改革実施計画に基づき、平成18年度まで3カ年にわたり積極的に取り組みを推進されている。

その具体的な内容は、物件費や人件費といった内部経費の抑制のほか、事業施策の見直しなど支出を抑えることにつながるもの、受益者負担の見直しや町税、町営住宅家賃等の滞納対策による自主財源の確保とい

った収入の増加につながるものなど、広範にわたっている。

特に町税の滞納問題については、過去3年間で21.6%も増加しているとのこと。近年の景気不況なども大きく影響していると思われるが、町税収入は、平成17年度一般会計予算において約31億5,600万円が計上され、歳入の42.7%を占めている。

このように、町税はまさに町の歳入の根幹をなしているものであり、行財政運営の健全化を図る意味からも、こうした滞納分が年々増加する傾向が続いている。町税の滞納対策として、どのような取り組みをされているのか。

### 滞納システム導入の準備を進めている

税務課内で協力体制を作り徴収に努めたい。

今後の滞納整理の基  
本方針として、当該年度で課税した町税は年度内に整理し早期完納に導き、新たな滞納を防止することにより滞納者総数を減少させる

こと。滞納繰越分については高額滞納者を中心に滞納整理を行い滞納額の縮減を図ることの2点を重点的に取り組みたい。

### 徳島滞納整理機構

徳島県の飯泉嘉門知事は、県内の市町村に「徳島滞納整理機構」の設立を提案し、参加を求めている。市町村税など徴収体制の一層の強化を図るため、市町村が連携して取り組む一部事務組合である。藍住町はどのように考えているのか。

### 参加の意向

町税は町財政において最も重要な財源であり、滞納を防止し、町民の税負担の公平性を確立するため、厳正な方針で臨んで参りたい。そういう意味からも、滞納整理機構の設立に関し、正式に方向性がまとまった場合、積極的に検討していく。



正法寺川公園互恵広場





西岡恵子議員

### 学校給食での地産地消の取り組み

地産地消とは地域で生産されたものをその地域で消費することである。

学校給食への導入を以前より再三お願いしているが、あまり進展が見られない。地産地消の推進は新鮮な食材の提供から食の安全安心につながり、地域農業の活性化、また食材を通じて「人と人のつながり」もでき、食育や食文化の伝承、さらには町づくりにつながる。と考える。

### 関係機関の協力を得ながら進めたい

米飯給食導入について、出来るだけ使用月

を増やしていくよう取り組みたい。早い機会に地元J・A・徳島県学校給食会等の協力を得て、実施可能な方法等を話し合う場を設けていきたい。

### 子育て支援

国を挙げて少子化対策には力を注いでいるが歯止めがかからず、合計特殊出生率が1.288で人口減少に向けて進んでいる。人口増の本町の実態、また、これまで取り組んできたエンゼルプラン等の支援サービスの経過についての現状はいかがか。

藍住町次世代育成支援行動計画が策定された。子供を持ちたい理想の数より実際の数が少ない理由として、子育てに対する経済的

負担が最も多く、さらには肉体的・精神的負担、仕事との両立困難とあり、それらをどのように軽減していくかが今後の課題と示されている。

子育ての条件も整っていない本町職員の現状は。また、これまで実施された保育所の拡充を中心とした施策には限界もあり、民の活用という点から、現在東京都等で実施されている「保育ママ」制度の導入は、いかがか。

### 更なる充実を図っていく

本町は、この先5年間で、就学前児童が52人の減。小学校児童が6人の増。中学生から17歳までが146人の減と推計される。

乳幼児健康支援一時預かり事業・ファミリーサポートセンター事業等、少しずつだが、年々その活動に広がりを見せている。これらを含め一時保育事業や地域子育て支援センター等次世代育成支援行動計画に基づき更なる充



9・10ヵ月健診時の離乳食講習

ている事業とその効果、今後の計画、各機関との連携については。6月10日、国会で食育基本法が成立。更なる取り組みを。

### 今後、更に充実するよう取り組み

本町では保健センターを中心とした保健事業の中で、妊娠中、乳幼児、小・中学校等、全ての時期において、食生活改善推進協議会や学校、歯科衛生士会等とともに一貫した教育活動を実施。生活習慣改善にも取り組んでおり、今後、更に充実した事業となるよう取り組みたい。食育基本法について、食育推進の活動に役立てていくよう考える。

### 粗大ごみ

4月1日より有料化による現場での住民の反応は。また、有料化に伴う不法投棄対策はいかがか。ゴミの減量化は住民の協力が不可欠。今後の取り組みは。

### 有料化によるトラブル・混乱はない

不法投棄の箇所、件数は昨年度と殆ど変わりはない。しかし、3月末まで無料で受け入れしていたので、これから増えることも予想される。不法投棄が多くある所に立ち番を置く等して対応していきたい。

### 安全な町づくり

街路灯の設置状況はいかがか。道路事情、住宅事情の変化による適正な箇所への設置に向け一斉点検を安全な町づくりをお願いする。

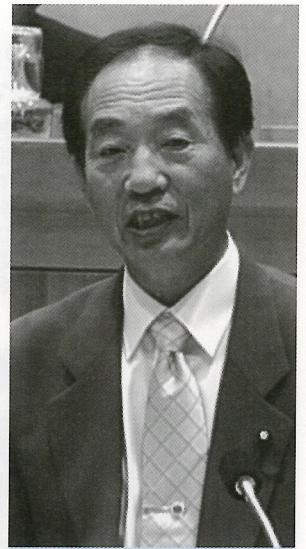
### 設置数は2,130箇所

街路灯は、基本的に電柱がある場所に設置。電柱のない所で整備出来ない場合がある。開発等により生活環境も変化しており、今後、整備していく上で配慮していきたい。

### 食育への取り組み

健康づくり・食育推進活動への取り組みで現在行っ





林 茂 議員

### 県の一方的な補助率カット

①県は、財政力指数が高いという理由で、藍住町など8自治体の予算を削減。何を根拠にして決めているのか。削減された金額は。

②合併浄化槽の削減分を肩代わりした市町がある一方、藍住町では、5人漕で6万円が住民の自己負担増。住民負担への影響に差が出ているが、やむを得ないと思うのか。削減撤回の申し入れは。

### 県に撤回の申し入れを行っていく

財政力指数による県補助金補助率カットで20%引下がる。国・県の補助金削減に対し、町は肩代わりをせず、町負担額がこれまでと

同等になるよう事業費の見直しをした結果、県補助金は総額766万4千円の減少。これに伴い国庫補助金も375万8千円の減少。財政力指数による補助金減額は問題があると考え、今後は是正を求めていく。

### 介護保険法改悪とその影響

①高齢者への住民税非課税廃止で、介護保険料や利用料が引き上げられるが、負担と影響は。

②特養ホームの入所対象者は要介護2以上となり、現在入所している要介護1の人は入所資格を失うことになるが、その影響は。

③施設入所者には、家賃など全額自己負担と食費が10月から利用者負担にな

る。支払いができない人は施設から追い出すことになるが影響は。

④自宅から通って利用するデイサービスやデイケアの昼食は、保険給付をなくし全額自己負担となる。訪問介護の家事代行を廃止対象。負担が増えてサービスの抑制につながる心配はないか。

⑤町民アンケートで、「介護保険料が県下で一番高い、年金で生活していく者にとっては大変厳しい。少しでも税金の無駄遣いをしないでほしい」「高い介護保険料を引き下げてほしい」など、不安と切実な声をしっかりと受け止めてほしい。

### 非課税から課税となる方は800人程度

利用者区分が第1または第2段階上がるケースが出る。国において急激な負担の上昇にならないよう措置が図られると考える。

制度改正により要介護1の方は要支援2・要介護1に区分。施設サービスを受給できる

のは要介護の場合となり、要支援の方は非該当となる。経過措置として平成20年度末まで引き続き入所が出来ることとなる。

また、居住費・食費は原則、保険給付の対象外となる。低所得者に対しては、新たに補足的給付制度を創設し、負担軽減を図ることとなる。

②国も県も財政難だと補助金を削減しており、下水道事業は60年間という長い年月。当初の予算どおり補助金が確保される保証があるのか。

③徳島県は、污水处理の普及率が最下位であり、合併浄化槽に対する補助金を削減するのは、環境整備に真剣に取り組むのかどうか真意がわからない。それとも污水处理の促進整備事業は、合併浄化槽でなく公共下水道事業を優先する考え方に変わったのか。

### 下水道地震対策指針に基づき設計

地震災害による被害が最小限となるよう整備を進めている。

現段階では補助金は確保されている。今後とも国・県に対し強く要望していく。

また、徳島県汚水適正処理構想策定要領等により比較・検討した結果に基づき、下水道



藍寿苑

### 公共下水道事業

①阪神淡路大震災では、下水道施設に大きな被害を受けたが合併浄化槽の被害

事業を今後も推進していく。

### 身体障害児の入園拒否

①子どもの権利条約は、どの国内法より優先され、子どもの権利を実現できるよう援助する役割が、国や地方公共団体、子どもに関わる公的・私的なあらゆる機関で義務づけられているが、どのように受け止めているか。

②基本的な人権問題を予算と同列に扱うべきでない。町の仕事は、住民の暮らしや福祉を守ることであり、裁判に費やす時間や費用を福祉充実にまわすこと。

### 仮の義務付けを重く受け誠実に対応

子供の幸せのための約束である条約は、国と国との取り纏めであり、各国が実現のため努力しているが、国も県も共に取り組みながら、その支援のあり方が問われていく大きな政策課題である。





喜田敏夫議員

### 勝瑞の歩道整備はいつ出来るのか

昨年12月議会では「徳島土木との設計協議も整った。あとは土地改良区との調整だけである。」平成17年度中には完成するような答弁であったがいまだに工事にかかっていない。なにか問題があるのか。

### 7月頃に着工予定

徳島土木事務所との協議、土地改良区との調整は進んでいる。しかし、空気弁等の関係で地元の協力を得る必要があるが、今後、県ならびに地元関係者と十分協議し、出来るだけ早く完成するよう協力していきたい。



勝瑞旧県道

### 休日及び祝祭日の当直医制度

板野郡医師会への委託事業だと思うが、このほど地域の住民から「年寄りが急患で診察をお願いしたが「専門外」だからと言うことで診察を断られた。仕方なく消防署に連絡し、徳島市内の総合病院を紹介して

もらい事なきを得た。これではあまり役に立っていないのではないか」との問い合わせがあった。もっと良い方法はないのか。

### 県・医師会と連携し適切な運営を図る

この制度は初期救急医療体制を整備するため、郡・市医師会単位として休日・夜間の在宅当番医制を委託により実施している。初期医療・応急手当を行い、更に治療等、必要な場合には2次救急医療施設へ転送する機能を果たすもので、救急医療

### 児童館の社協への移行はどのようになるのか

体制の基盤となるものである。しかし、住民ニーズへの対応が困難なケースもあり、今後、県及び医師会とも連携し適切な運営が図られるよう努めたい。

4月1日から町の直営から社協へ委託となったが移行は順調にすすんでいるのか。また、懸案であった職員2名体制だが、職員の週40時間労働の枠の問題で、「土曜日と職員が休んだ場合」どう対処しているのか。職員を増やせば行財政改革に逆行するのではないか。

また、雇用通知の「先走り」に対する処分はどのような内容のものか。

### ほぼ順調に運営

4月当初、利用保護者より幾度か御心配の問い合わせや御意見をいただいたが、2ヶ月余りを経過し、今日で

は、安心して利用いただいている。

現在、学童・児童館職員含め、7館20名の臨時職員で運営。休暇・40時間対応は、その20名の相互応援により運営。なおかつ、緊急に不足する場合は、パート登録している方により対応している。

社会福祉協議会理事事会での処分の内容は、社協事務局長が、厳重注意と3ヶ月間の減給10%。会長は、職員の指導監督を徹底し信頼回復をさせるようにとの厳しい注意と大きな宿題を与えられた。

### 障害者の幼稚園入園拒否事件

6月7日に徳島地裁より「入園拒否は裁量権の乱用である。体験入園は必要以上で差別感を抱かせ子供の成長と障害となる恐れが十分ある。」との決定がでた。この裁判によって本人と家族に多大な迷惑をかけたがどのように謝罪をするのか。また、町民にも多大の損害を与える事になるがど

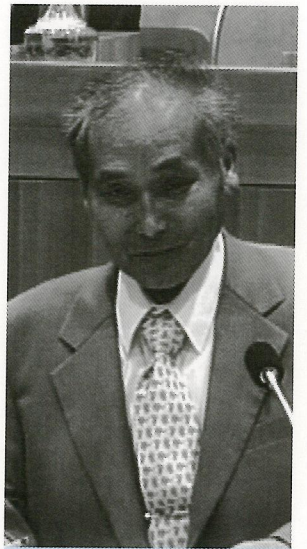
う対処するのか。さらにはこのような不祥事を2度と起こさないためどのような対策をたてるのか。

### 仮の義務付けを重く受け、誠意をもって履行

高裁への即日抗告を見送り、幼児の就園を教育委員会ならびに現場職員に指示。また、関係職員へ協力を要請した。そして、保護者のご自宅を訪問し、仮の義務付けを受け入れる旨の報告をさせていただいた。

今回のことが不祥事と捉えるかどうかは別にして、職員は最善の努力をしてきたと思っている。敢えて責任者というならば、町長である私にあると考えている。心ならずも訴訟事件に発展したことは誠に遺憾である。こうしたことを教訓に、今後とも本町の教育行政等に十分、参考にして取り組んでいきたいと思っている。





高橋 始 議員

### 飲料水の水質検査

本町は、他町村と比べて緑や水には恵まれているが、無策で放っておくと、環境の劣悪化を増進させ、住民の健康を損なう問題となる恐れがある。工業所からの汚水や油濁、また家庭の雑排水、農薬や肥料の過剰散布等、汚染源は時代の進展とともに増大している。本町は地下から取水しており、今は問題化していないが、命に関わることだけに、今まで以上の水質管理を徹底してもらいたい。

また、飲料水の検査や、その結果はどうなっているのか、住民には情報が開示されていない。今日の水質の状況や程度について広報を通じ、情報提供をしていくべきでは。なお、初期に埋設された

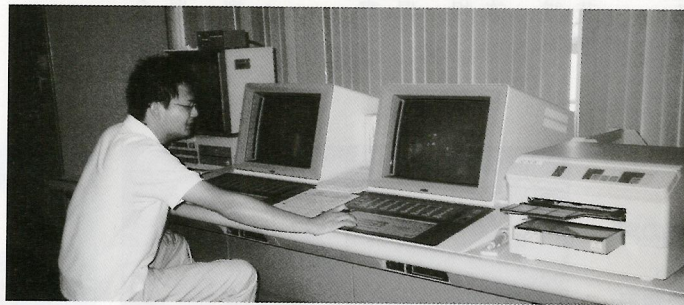
水道管には老朽化に伴いサビ等、有害物質の発生が起こっているものもあるのは。水道管の更新は耐用年数期限内に改善されているのか。

### 検査結果を出来るだけ早い時期に公表

水質検査の種類について、地下から汲み上げた水の細菌類や化合物等38項目を年1回。町内に配水している水道水は51項目を月1回。また、地下から汲み上げた水のクリプト暫定指標菌水質検査を年1回。それぞれ第三者機関で実施。検査結果は全て基準内で問題はない。

水道管の耐久性は、材質や埋設箇所の土質の違いがあり一概には

言えないが、老朽管更新事業として計画的に改良工事を実施している。



水道課中央監視室

### 災害時の飲料水確保

近い将来、高い確率で起こると言われている大震災に対し、飲料水の確保の対策はどうなっているのか。

### 貯水タンクを活用

災害時、水道水の供給ができない場合、浄水場にある貯水タンクを効率的に活用することにより対応。

また、飲料水の備蓄や、町内のスーパー等に対し、飲料水供給の協力を依頼しているところである。

### 公害防止協定

町内の事業所から排出される汚水や油濁等について、重点事業所は公害防止協定を結んでいるのか。もし結ばれていなければ今後、行政指導を積極的に行っていくべきである。また、結ばれていない重要事業所には、条例の制定も視野に入れて努力していくべきであるが、いかがか。

### 町内企業は1社

県・町・企業の3者で公害防止協定を交わしている企業は1社。

毎月、水質・騒音・大気・振動について調整し報告を受けている。

また、規制にかからない小さな事業所には、水質浄化対策を講じてもらえるよう粘り強くあたっていくたい。

### 学校の安全対策

中学校の修学旅行において、生徒の死亡事故が発生した。亡くなられた生徒のご冥福を心からお祈りしたい。

この事故による同級生のショックは大きいと聞くが、再発防止と対策は。

また、生徒のショックを和らげる「心のケア」が大事故であり速やかに専門の医療機関関係者を配備すべきであるが、いかがか。

### カウンセリングを配置

常日頃から生徒に対する事故防止の指導と教職員が細心の注意を払うことが大切。心のケアは事故後、早急に県へ特別措置を

依頼。毎日カウンセリングを配置している。

### 中学生の非行問題

本町の中学生の学習態度や非行率は他の郡内に比べて非常に悪いように聞く。郡内の生徒の学力ランクや非行率ほどの程度か。今後の非行防止対策や危機管理対策の為に是非、公表を。

### 補導件数の約3割が中学生

平成16年度、管内の補導数は68件。中学生はその内21件。また、少年相談は、暴力等、非行に関して53件。不登校等、生活に関するものが93件である。不審者情報では、声かけ・盗撮など73件であった。不審者については、迅速な情報提供が大切であり、子供達に注意を促し防止に努めたい。学力について、学校間での成績比較はしていない。



# 議会のつどき

## 5月

6日 議会日より編集委員会  
10日 防災対策特別委員会視察研修(兵庫県)

16日 2005年国民平和大行進  
18日 第45回商工会通常総代会  
20日 板野郡町議会議長会定例会(上板町)

24日  
25日

第30回町議会議長会研修(東京都)

28日 第5回勝瑞城館跡まつり  
31日 議会運営委員会

## 6月

1日 分権改革日本実現全国大会(東京都)

2日 藍住町福寿連合会第46回定期総会

3日 町村議会議務局職員研修会  
6日 板野防犯連合会総会

7日 町村議会議長会臨時総会

9日 議会全員協議会

13日 6月定例議会開会  
20日 6月定例議会一般質問  
23日 6月定例議会閉会

## 7月

4日  
5日  
6日 建設産業常任委員会視察研修(埼玉県・新潟県)

文教常任委員会視察研修(千葉県・埼玉県・栃木県)

5日  
7日

総務常任委員会視察研修(埼玉県・神奈川県)

12日 奈良県王寺町議会視察研修来庁(行財政改革等)

13日 板野東部消防組合議会  
第1回臨時会(松茂町)

13日  
15日

厚生常任委員会視察研修(東京都・埼玉県)

22日 鳥取県町村議会議務協議会視察研修来庁(議会運営)

30日 あいずみ商工会納涼祭

## 定例会案内

次の定例会は9月です。  
次号は11月に発行します。

お問い合わせ  
議会事務局 ☎ 637・3127

## 本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受けつけていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承下さい。

## 編集後記

第15回藍住町平和のつどいが7月18日、町民会館で開かれ、午前は石川町長、午後は矢野教育長のあいさつの後、「ガラスのうさぎ」を上映。60年前の戦争で父を、東京大空襲で母と妹2人を失い悲惨な戦争体験した少女の実話です。

小学生のアンケートには「いのちはとっても大切だなと思いました。そしてせんそうなんかいらなと思います」「これからも戦争をなくし、平和な世界にしていきたいと思いました」。この子たちの願いに、私たち大人の責任の重大さを感じました。

## 議会日より 編集委員会

委員長 長 林 茂  
副委員長 西谷 修  
委員 員 江西博文  
委員 員 西岡恵子  
委員 員 喜田敏夫



藍住町水防講習会



科学遊びと読みきかせ会

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

### — 投稿規定 —

- 一、住所・氏名・電話番号を明記。
- 二、掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 三、字数は五〇〇字以内。
- 四、投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。